

1 人と緑の豊かな環境を考える“造園学”の理論と実践

環境園芸学部 環境園芸学科 教授 セキニシ タカヤス 関西 剛康

講座要旨

連綿と続く歴史性をもつ伝統的な“造園”の世界は、今や国際的に高い評価を得るまでになり、また私たちの身近なまちづくりに多いに活かされています。この広い領域を持つ造園について、筆者が携わった幾つかの事例をもとにその理論と実践、その職域を紹介します。

最初に、世界的ブームとなっている伝統的な日本庭園について、2001年イギリスのジャパンイヤーの一環として企画された王立キュー植物園での日本の伝統的技術を活かした今日的な展示庭園等を通じて、造園の国際交流を紹介します。

また、地域社会における造園の役割を考えるうえで、京都市の二条公園の再整備をめぐり、地域住民と行政と設計者がワークショップにより協働で計画案を考え、新たに地域に根ざした街区公園等の整備事例を紹介します。ここでは公共の都市公園を、身近な人と緑の交流の場とした地域の活性化について紹介します。

ほかにも、日本の優れた文化財庭園の保全について、桂離宮庭園等を紹介しします。文化財庭園の保全は、地域住民の理解なくしては成立しません。地域文化と共に発展する文化財庭園の保全のあり方を紹介します。

【造園計画研究室：Laboratory of Landscape Planning and Design】



【英国キュー植物園の展示庭園】



【京都市の二条公園】



【桂離宮庭園】

履 歴

- 1964年12月 京都府出身
- 1987年 3月 大阪芸術大学 環境計画学科 卒業
- 1987年 4月 株式会社 中根庭園研究所 設計部 入社
- 1995年 3月 大阪芸術大学大学院 芸術文化研究科 修士課程修了
- 1999年 3月 大阪芸術大学大学院 芸術文化研究科 博士課程(後期)修了
- 2007年 3月 株式会社 中根庭園研究所 設計部 次長 退社
- 2007年 4月 南九州大学 環境造園学部 造園学科 専任講師
- 2008年 4月 南九州大学 環境造園学部 造園学科 准教授
- 2010年 4月 南九州大学大学院 園芸学・食品科学研究科 園芸学専攻 造園学分野 准教授
- 2011年 4月 南九州大学 環境園芸学部 環境園芸学科 造園緑地専攻 教授
南九州大学大学院 園芸学・食品科学研究科 園芸学専攻 造園学分野 教授

南九州大学
担当科目

造園植栽論、敷地計画論、敷地計画論演習、都市緑地論、都市緑地論演習、専攻演習 ・ ・ ・、卒業論文、造園計画特論 ・ ・ ・、造園計画特別演習